

事業名	子育て応援券支給事業
-----	------------

総事業費	2,135 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	子どもの育成支援

② 実施 (Do)

事業の意図	経済的負担の軽減	
事業の実績 と 成果	取組内容	保護者からの申請→支給決定→応援券支給→市内の契約店舗で乳幼児の衣食にかかる商品と交換→契約店舗から前月分請求書の受取→支払
	成果	支給額は少額であるが、市をあげて子育てを応援しようという姿勢に感謝の声が寄せられている。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	出生数が年々減少し、事業費も減少傾向にある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	次年度から出生時の支給枚数を増加し、加えて、大手ドラッグストアが新たに協賛店に参加していただけることになり、事業拡大することになった。今まで以上に、子育て世帯への経済的負担軽減に繋がることを期待する。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	子育て世帯を効果的に支援する仕組みとして有効な取り組みとして継続しつつ、今後、支給額の増額等についても検討していく。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	子ども医療費助成事業
-----	------------

総事業費	33,710 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	子どもの育成支援

② 実施 (Do)

事業の意図	子育て世帯の経済的負担の軽減と子どもの健康増進	
事業の実績 と 成果	取組内容	受給資格者証に関する事務（登録申請書・変更届・再交付申請書の受付、発行） 助成金支払事務（内容審査、助成決定、通知発送等） 補助金申請事務
	成果	助成年齢を18歳までに拡大したこと、非課税世帯の未就学児の現物給付が始まったことに感謝の声もきかれる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	助成年齢の引き上げや一部の対象者への現物給付の開始等で制度は保護者にとってよりよいものとなっているが、それにともないコンビニ受診等が増えないように、自治体としても広報していく必要があると思われる。令和3年度より現物給付の対象が18歳まで拡大される見込み。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	18歳までの子どもの保険診療分医療費の自己負担金を助成する事業であり、子育て世帯の転入者等が好意的反応を見せる事業の一つである。 平成30年10月診療分からは非課税世帯の未就学児分の県内医療機関での現物給付が始まったが、今後18歳まで拡大する方向性が示されている。変化に対してしっかりと対応したい。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	助成年齢の引き上げや一部の対象者への現物給付の開始等、子育て世帯への経済支援策として充実してきている。今後も県の動向を見据えながら、事業を行っていく。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明